

記事内容

- ☆2022春季生活闘争 4次行動(大宮駅東口)
- ☆2022春季生活闘争 3次行動 地協要請行動
- ☆2022春季生活闘争 4次行動(各地域街宣)
- ☆2022春季生活闘争 第4回回答速報
- ☆メンタルヘルス研修会お知らせ/平和集会お知らせ
- ☆地協議長・事務局長紹介/アドバイザー紹介
- ☆医療生協さいたまお知らせ/5月の行動日程
- ☆あけぼのビル

中小労働組合の春闘交渉はこれからが本番!

～「人への投資」で「働きの価値に見合った水準」の追求を!
「すべての労働者の立場にたった働き方」の見直しを!～

2022春季生活闘争4次行動 中小労働組合解決促進アピール

2022春季生活闘争の4次行動として、4月5日(火)大宮駅東口で中小労働組合解決促進に向けた駅頭街宣行動を実施しました。

街宣の冒頭、近藤会長より「私たちは、経済の後追いではなく、経済・社会の活力の原動力となる『人への投資』を積極的に求める春闘を展開している。とりわけ、中小企業や有期・短時間・契約等で働く者の賃金を『働きの価値に見合った水準』に引き上げることをめざし、『分配構造の転換につながり得る賃上げ』に取り組む重要性を認識しなければならない。2022闘争は、すべての組合が月例賃金の改善にこだわり、それぞれの賃金水準を確認しながら、「底上げ」「底支え」「格差是正」の取り組みをより強力に推し進める春闘であります。先行組合が引き出した回答を最大限活かし切り、あとに続く組合の交渉環境を維持、更に加速させていくため、引き続き全力で積極的な対応をはかっていく」と挨拶がありました。

その後、「みんなの春闘」アピールとして平尾事務局長から、「05(れんごう)の日」の取り組みとミニマム賃金の取り組み、ワークルールについて訴えました。

さらには、構成組織の交渉状況として、JAM埼玉小嶋執行委員、JEC連合 江郷執行委員、埼玉県私鉄大野執行委員からこれまでの交渉結果や中小の組合はこれから交渉をおこなうことなどをリレー形式で報告しました。

次に青年委員会 丹羽委員長から格差是正アピールとして、中小企業で働く労働者の賃金や有期・短時間・契約等で働く労働者の賃金水準を引上げ格差を是正するだけでなく賃金を含めた労働条件をこの春闘交渉の中で改善していく必要性についてアピールしました。

最後に女性委員会の野村幹事と深江幹事から男女間格差の現状や男女平等に向けた取り組みの必要性についてアピールがあり、駅頭街宣行動を終了しました。

今回の駅頭街宣行動では、まん延防止等重点措置が解除されたことから、ミニマム賃金に関するチラシ入りマスクを今年度初めて手渡しで配布しました。

春闘交渉はおおむね6月末まで様々な企業内労使でおこなわれます。連合が発表する回答集計など引き続きご注目いただきますようお願い申し上げます。



代表者挨拶する
近藤会長



平尾事務局長



小嶋執行委員



江郷執行委員



大野執行委員



青年委員会
丹羽委員長



女性委員会
野村幹事 深江幹事

2022春季生活闘争 3次行動

各地域協議会によるミニマム賃金要請

連合埼玉の要請行動にあわせ各地域協議会においても、3月下旬～4月上旬にかけ、地域の商工団体に対し、要請行動をおこないました。本行動では、各地域の企業が感じている景況観や経営環境などを確認するとともに、中小・地場企業で働く者の月例賃金の底上げと企業規模間、雇用形態間の格差是正にむけた連合埼玉ミニマム賃金以下の賃金をなくすよう要請をおこないました。



さいたま地域協議会
／さいたま商工会議所



朝霞・東入間地域協議会
／ふじみ野市商工会



朝霞・東入間地域協議会
／三芳町商工会



朝霞・東入間地域協議会
／新座市商工会



朝霞・東入間地域協議会
／富士見市商工会



比企地域協議会
／東松山商工会



西部第四地域協議会
／狭山市商工会議所



西部第四地域協議会
／入間市商工会



西部第四地域協議会
／飯能市商工会議所



秩父地域協議会
／秩父商工会議所



北埼玉地域協議会
／加須市商工会



北埼玉地域協議会
／羽生市商工会

＜連合埼玉ミニマム賃金＞

1996年より中小企業労働者の企業規模による賃金格差を是正するため、「〇〇円以下の賃金をなくす」ことをめざす運動として設定しています。金額水準は、埼玉県内の中小企業に勤める組合員の賃金実態の第10百分位(下から10%)をベースに、生活保護基準や連合の考える最低限の生計費を勘案して設定しています。2021年の調査結果から、現在の35歳ミニマム賃金の設定は228,000円となっています。

2022年 連合埼玉ミニマム賃金

年齢	2022ミニマム
20歳	169,000
25歳	193,000
30歳	210,000
35歳	228,000
40歳	240,000
45歳	261,500

春闘4次行動を各地域にて開催

4月5日(火)大宮駅東口の駅頭街宣行動に続き、西部ブロックの川越駅、東部ブロックの南越谷駅、北部ブロックの熊谷駅、南部ブロックの川口駅にて各地域の春闘4次行動「中小労働組合解決促進アピール」を開催しました。各担当副会長による代表挨拶、平尾事務局長による「みんなの春闘」アピール、担当執行委員による構成組織の交渉状況報告、青年委員会の格差是正アピール、女性委員会の男女平等アピールをおこないました。合わせて地域協議会役員の皆様にも協力いただき、ミニマム賃金に関するチラシ入りマスクの配布もおこないました。これで2022春季生活闘争の街宣行動はすべて終了しましたが、これから交渉をおこなう組合への支援など取り組んでいきます。

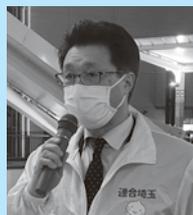
4月6日(水)川越駅東口デッキ



代表挨拶
二階堂副会長



交渉状況
近藤執行委員



交渉状況
小嶋執行委員



交渉状況
富田執行委員



格差是正
青年委員会
齊藤副委員長



男女平等
女性委員会
牧・夏川幹事

4月8日(金)南越谷駅南口



代表挨拶
沼尻副会長



交渉状況
古屋執行委員



交渉状況
五十嵐執行委員



交渉状況
大野執行委員



格差是正
青年委員会
會田幹事



男女平等
女性委員会
細川副委員長・山本幹事

4月13日(水)熊谷駅北口



代表挨拶
小林副会長



交渉状況
菊地執行委員



交渉状況
前原執行委員



交渉状況
赤羽執行委員



格差是正
青年委員会
南幹事



男女平等
女性委員会
小峯副委員長・春田幹事

4月15日(金)川口駅東口デッキ



みんなの春闘
平尾事務局長



交渉状況
丹羽執行委員



交渉状況
小穴副事務局長



格差是正
青年委員会
桐山幹事



男女平等
女性委員会
石川事務局長



連合:2022春季生活闘争 第4回答集計結果(4月14日現在)

連合は4月14日(木)、2022春季生活闘争 第4回回答集計結果を公表しました。

【概要】

- 月例賃金改善要求を提出した4,310組合のうち、2,650組合が妥結した。うち賃金改善分を獲得した組合は1,311組合・48.5%で、依然高い水準を維持している。
- 平均賃金方式で回答を引き出した2,737組合の「定昇相当込み賃上げ計」は加重平均で6,257円・2.11%(昨年同時時期比812円増・0.28ポイント増)、うち300人未満の中小組合1,790組合は5,094円・2.06%(同547円増・0.25ポイント増)となった。前回集計(4月5日公表)以降548組合(うち中小組合424組合)が新たに回答を引き出したが、率は水準を保っている。
- 有期・短時間・契約等労働者の賃上げ額は、加重平均で時給24.72円(同2.81円増)・月給5,050円(同605円増)である。引上げ率は概算でそれぞれ2.41%・2.34%となり、以前一般組合員(平均賃金方式)を上回っている。

1. 賃金引上げ <第4回回答集計結果(4月14日公表)>

平均賃金方式(集計組合員数による加重平均)

平均賃金方式	2022回答(2022年4月14日公表)			昨対比	2021回答(2021年4月15日公表)		
	集計組合数 集計組合員数	定昇相当込み賃上げ計 額	率		集計組合数 集計組合員数	定昇相当込み賃上げ計 額	率
	2,737組合 2,329,449人	6,257円	2.11%	812円 0.28ポイント	2,572組合 2,034,729人	5,445円	1.83%
300人未満計	1,790組合 188,913人	5,094円	2.06%	547円 0.25ポイント	1,717組合 176,757人	4,547円	1.81%
~99人	976組合 42,932人	4,525円	1.96%	498円 0.25ポイント	968組合 42,848人	4,027円	1.71%
100~299人	814組合 145,981人	5,270円	2.09%	556円 0.25ポイント	749組合 133,909人	4,714円	1.84%
300人以上計	947組合 2,140,536人	6,367円	2.11%	833円 0.28ポイント	855組合 1,857,972人	5,534円	1.83%
300~999人	561組合 302,529人	5,663円	2.07%	490円 0.17ポイント	523組合 284,964人	5,173円	1.90%
1,000人~	386組合 1,838,007人	6,486円	2.12%	883円 0.31ポイント	332組合 1,573,008人	5,603円	1.81%

※2022年と2021年で集計対象組合が異なるため、「定昇相当込み賃上げ計」の昨対比は整合しない

2. 有期・短時間・契約等労働者の賃上げ <第4回回答集計結果(4月14日公表)>

時給	2022回答(2022年4月14日公表)			昨対比	2021回答(2021年4月15日公表)		
	集計組合数 集計組合員数	賃上げ額	平均時給 (参考値)		集計組合数 集計組合員数	賃上げ額	平均時給 (参考値)
単純平均	231組合	22.89円	1,057.78円	3.63円	186組合	19.26円	1,041.34円
加重平均	637,512人	24.72円	1,049.97円	2.81円	534,793人	21.91円	1,048.59円
月給	2022回答(2022年4月14日公表)			昨対比	2021回答(2021年4月15日公表)		
	集計組合数 集計組合員数	賃上げ額	率(参考値)		集計組合数 集計組合員数	賃上げ額	率(参考値)
単純平均	56組合	4,496円	2.11%	215円	55組合	4,281円	2.03%
加重平均	16,835人	5,050円	2.34%	605円	16,180人	4,445円	2.05%

「安心・安全に働ける職場をめざして」

メンタルヘルス研修会(応用編)を開催します!

メンタルヘルスは、職場における非常に大きな課題であり、連合埼玉はセミナー開催など継続的な取り組みをおこなっています。また、ここ数年でメンタルヘルスについては、メンタルヘルスの要因の一つでもあるハラスメントに対する法整備がされ4月1日から中小企業へのパワーハラスメント防止措置が義務化されるなど公労使で一体となって取り組む必要性があります。さらには、コロナ禍によりテレワークの急速な普及など働き方にも大きな変化出ています。

このような状況を踏まえ、労働政策委員会では本年も「メンタルヘルス研修会」を年2回(応用編と基礎編)予定しています。今回の応用編は、メンタル不調の未然防止と対策について学ぶ場として開催いたします。組合役員だけでなく、管理監督者や人事担当者など会社側で安全衛生に取り組んでいる方も参加できますので、労使のみなさんの積極的な参加をお願いします。

開催内容

1. 日 時
2022年5月27日(金) 13:30～16:30
2. 階差方法
会場並びにWEB会議システム(ZOOM)による開催
3. 内 容
「高ストレスによるメンタル不調の未然防止と対策」～新型コロナウイルス感染症によるメンタルへの影響～(仮題)
講 師 株式会社Dr.健康経営
代表取締役/産業医 鈴木 健太氏
4. 申し込み
5月18日(水)まで
5. その他
基礎編については、9月9日(金)の開催を予定しています。

核保有の誇示や核兵器の使用は許さない

2022年度 平和集会

平和の尊さや戦争の悲惨さを次代に継承することを目的として、連合埼玉主催による2022年度「平和集会」を開催します。

現在、ウクライナではロシアによる軍事侵攻が続いています。報道によれば、子どもを含め、多くの民間人に犠牲が出ているとのことであり、これまでの平和な暮らしが脅かされていることは到底看過できるものではありません。加えて、ロシアの核保有を誇示する姿勢や核兵器の使用を示唆する発言は、到底許されるものではありません。

こうした情勢の中、ウクライナ・ロシア・欧米の関係を学び、世界で唯一の被爆国である日本の果たすべき役割について考え、平和4行動へ向けた事前学習ならびに平和を希求する集会とします。多くのみなさんの積極的なご参加をお願いいたします。

詳しくは連合埼玉発信文書第131号をご参照ください。

日 時	2022年6月4日(土) 10:00～11:40
開催方法	WEB会議システム(Zoom)
内 容	【講演】戦争の悲惨さを間近に感じて、今私たちにできること(仮題) 講師:猿田 佐世氏(新外交イニシアティブ代表)
対 象 者	構成組織、地域協議会、青年委員会、女性委員会、シニア連合、組合員の家族 連合埼玉推薦議員にも参加を募ります。

地域の顔の見える活動を推進

2022年度地域協議会 議長・事務局長 紹介

連合埼玉には12の地域協議会があり、連合組織内の連携や地域で働く仲間の支援活動、また、各地域の特色を生かした活動に取り組んでいます。今年度も各地域協議会の総会が終了し、役員人事が確認されましたので、各地域協議会の議長と事務局長を紹介します。

地域協議会	役職	氏名	産別名	単組名
さいたま市	議長	内田 均	JR総連	JR東労組浦和支部
	事務局長	濱田 浩	JAM埼玉	日本ピストンリング労働組合
川口・戸田・蕨	議長	長沢 英俊	UAゼンセン	関東労組川口化学支部
	事務局長	川口 明紀	電機連合	OKIソフトウェアユニオン
県央	議長	安富 良磨	電機連合	日立金属労組桶川支部
	事務局長	吉田 雄二	JP労組	JP労組県央支部上尾分会
川越・西入間	議長	伊藤 康之	自動車総連	本田金属労働組合川越支部
	事務局長	及川 青児	電機連合	埼玉村田製作所労働組合
朝霞・東入間	議長	村田 真人	電機連合	新日本無線労働組合
	事務局長	西牧 善信	電機連合	サンケン電気労働組合
比企	議長	矢島 規雄	JAM埼玉	クノールプレムゼステアリングジャパン労組
	事務局長	石渡 幸司	JAM埼玉	ボッシュ労働組合

地域協議会	役職	氏名	産別名	単組名
西部第四	議長	大森 洋司	電機連合	安川電機労働組合入間支部
	事務局長	鈴木 隆史	自動車総連	本田技研労働組合埼玉支部
熊谷・深谷・寄居	議長	関口 恒雄	電機連合	日立金属労働組合熊谷支部
	事務局長	新井 晃一	埼玉県私鉄	秩父鉄道労働組合
本庄・児玉郡市	議長	原田 和臣	自動車総連	マレリ労働組合児玉分会
	事務局長	佐藤 幸男	JEC連合	日産化学労働組合埼玉支部
秩父	議長	浅見 健	電機連合	秩父富士労働組合
	事務局長	小杉 貴大	基幹労連	三菱マテリアル横瀬労働組合
東部	議長	田村 英男	JAM埼玉	日本鑄鉄管労働組合
	事務局長	山本 聖	自治労	越谷市職員労働組合
北埼玉	議長	大山 泰司	自動車総連	日立Astemo労働組合埼玉支部
	事務局長	吉沼 眞矢	電機連合	岩崎電気労働組合

連合埼玉 新アドバイザー紹介

連合埼玉の労働運動をサポートしている、担当アドバイザーが4月1日より一部変更となり、各地域事務所の体制は下表の通りとなりました。新任のアドバイザー岩崎哲也さんは川越事務所、渡辺浩志さんは熊谷事務所勤務となります。また砂田謙さん(浦和勤務)、萩原孝夫さん(川越勤務)の2名は3月31日をもって退任されました。長い間ありがとうございました。

事務所の体制(敬称略)

事務所	担当アドバイザー
浦和	竹花 康雄
	相坂 恒夫
大宮	神田 幸輔
	菰田 実雄
久喜	桐谷 光男
	小島 勝美
川越	岩崎 哲也
	徳江 重明
熊谷	仁後 哲二
	渡辺 浩志

ネット21川越



岩崎 哲也
(いわさき てつや)
自動車総連出身

ネット21熊谷



渡辺 浩志
(わたなべ ひろし)
情報労連出身

現在予定される5月の日程表です

5月	行事等	
	連合埼玉・事務局	地協・産別・労福協・福祉事業団体・県・上部・外部団体
1日	日	
2日	月	
3日	火	
4日	水	
5日	木	
6日	金	
7日	土	
8日	日	蓮田市長選挙告示日
9日	月	官公労部門連絡会「第5回幹事会」(17:30～・浦和駅西口) 武正コートツップセミナー2022(18:30～・ロイヤルパインズホテル浦和)
10日	火	①第6回四役・拡大執行委員会(10:00～・13:00～・ときわ会館) ②第1回組織拡大推進者連絡会(15:30～16:50・ときわ会館)
11日	水	組合役員教育プログラム基礎講座①②(13:00～・WEB開催)
12日	木	議員会議「県外視察研修会」(~13日・福島県) 本庄・児玉郡地域協議会「第3回幹事会」(18:30～・はにぼんプラザ)
13日	金	秩父地域協議会「第7回幹事会」(18:00～・秩父勤労者福祉センター)
14日	土	組合役員教育プログラム基礎講座③④(13:00～・WEB開催)
15日	日	蓮田市長選挙投票日
16日	月	①中央労働金庫「第2回運営委員会」(13:30～) ②中央労働金庫「第1回県推進会議」(15:30～) ③比企地域協議会「幹事会」(18:00～・ボッシュ労働組合)
17日	火	①埼玉労福協「第1回代表者会議」(13:30～・ときわ会館) ②埼玉労福協「第1回政策制度会議」(15:00～・ときわ会館) ③小川町長選挙告示日
18日	水	①第3回政策・制度委員会(9:30～・連合埼玉会議室) ②組合役員教育プログラム基礎講座⑤⑥(13:00～・WEB開催)
19日	木	
20日	金	良い社会をつくる公共サービスを考える5・20埼玉集会(18:30～20:00・WEB開催) ①連合「第6回構成組織・地方連合会女性代表者連絡会」(14:30～・WEB開催) ②県央地域協議会「第4回幹事会」(18:00～・UDトラックス労組) ③JAM埼玉「第24回チャリティーゴルフ大会」(サンコー72カントリークラブ)
21日	土	組合役員教育プログラム基礎講座⑦⑧(13:00～・WEB開催)
22日	日	①小川町長選挙投票日 ②羽生市長選挙告示日
23日	月	
24日	火	オルガナイザー研修会「養成講座」(13:30～16:15・ときわ会館)
25日	水	女性委員会「第5回幹事会」(18:30～・WEB併用) 川口・戸田・蕨地域協議会「第3回幹事会」(18:30～・川口友愛センター)
26日	木	①ネット21「2022年度評議員会」(9:30～・あけぼのビル501) ②埼玉シニア連合「第3回四役会・幹事会」(13:15～・14:30～・あけぼのビル501) 関東ブロック「2022最低賃金担当者会議」(10:00～・連合東京およびWEB)
27日	金	メンタルヘルス研修会(応用編)(13:00～・あけぼのビル501) 令和4年度関東甲信越ブロック北方領土問題関係者会議(13:30～・大洗)
28日	土	
29日	日	羽生市長選挙投票日
30日	月	第2回地協議長・事務局長会議(13:30～・あけぼのビル501)
31日	火	

つながりで助け合い、支え合う
くらしサポーター制度

医療生協さいたまの「くらしサポーター制度は」、暮らしのなかの困りごとを組合員どうしで助け合う、有償ボランティア制度です。現在、県内19自治体で実施しています。コロナ禍でも感染症対策をとりながら活動をしています。困ったときは、お気軽にご相談ください。

実施自治体

川口市・さいたま市・所沢市・ふじみ野市・富士見市・川越市・熊谷市・上尾市・草加市・福川市・秩父市・朝霞市・狭山市・飯能市・新座市・三芳町・深谷市・蕨市・行田市

利用料金

60分 700円
※はじめは60分未満でも700円となります。

60分以降については、
30分延長ごとに350円となります。
※交通費が生じる場合は実費をご負担頂きます。

実施自治体では、ご近所や地域で困っている方のためにお手伝いするサポーターも募集しています。60分700円の活動費です。



お問い合わせ・お申込み

医療生協さいたま 本部 くらしサポーター事務局 ☎048-296-8692(月～金曜日 9:00～17:00)



医療生協さいたま生活協同組合

〒333-0831 埼玉県川口市木曾呂1317





<はじめに>

この夏に予定されています第26回参議院議員選挙においては、私たちの構成組織より、9名の組織内候補者を擁立し、連立推薦候補者として周知の取り組みをおこなっています。

特に、擁立構成組織は自組織の周知活動は、もちろんのこと、擁立構成組織以外の構成組織については、いずれかの連立推薦候補者を支援するとしています。

一方、埼玉選挙区においては、2022年2月、3月の執行委員会において、立憲民主党から「高木まり」候補予定者と、無所属で国民民主党推薦の「上田きよし」候補予定者の両名を推薦することを決定しています。

さて、5月と6月の「あけぼのビル」では、それぞれの構成組織で取り組んでいます参議院議員選挙を踏まえ、今月は「参議院」について考えてみたいと思います。

<二院制>

日本の国政においては、衆議院と参議院の二院制(日本国憲法第42条)を採用しています。国際的には、民主主義国の多くが二院制を採用しています。しかし、必ずしも二院制ばかりではなく、隣の韓国は一院制ですし、高福祉国家と言われる北欧(フィンランド・ノルウェー・デンマーク)も一院制を採用しています。

一院制と二院制、双方にメリット・デメリットがありますが、日本の場合二院制を採用している理由としては、①国民の間の多様な意見と利益をできるだけ広く反映させることができる、②相互に抑制、補完、協力することによって、国政上の重要課題を誤りなく処理できる等が挙げられています。

そもそも日本の二院制は、第二次世界大戦後、日本国憲法が制定される際に、当時のGHQ草案では、戦前の二院制(公選の衆議院と非公選の貴族院)から貴族院の廃止を前提とした一院制を推奨していました。

しかし、当時の憲法問題調査委員会において、議会運営と政府政策の安定性、継続性がもたらされることなど二院制の長所についてGHQに説明して、二院制になったとされています。

その際、参議院の構成については衆議院と重複する機関とならないよう留意し、社会の各部門・各職域の知識経験者が議員となり得るよう考慮すべきであるとの方針が示されたとされています。

<参議院の役割>

国政において、二院制を採用された歴史的経緯も踏まえると、参議院は、「衆議院のチェック機能(ダブルチェック)」の役割があります。

すなわち、万一の衆議院の多数派による暴走を防ぐ機能

や、衆議院の衝動的な判断をチェックすることで、拙速の決定を避け慎重な審議を可能にする役割があります。もう1つは、多様な職域、地域などの幅広い議員を選出することで、「国民の多様な意見を反映する」役割もあります。

従って、参議院は「良識の府」とも言われていますが、参議院議員をそれぞれの構成組織(産別)から選出する意味は、私たちの職場の声を聴き、意見を法案に反映したり、チェックしたりすることから、参議院の役割として大変重要なものとなっています。

<参議院と衆議院の違い>

大きな違いから言えば、衆議院(任期4年)には解散がありますが、参議院にはありません。

従って、任期満了(6年間)までしっかりと役割を發揮することができます。そして、参議院議員に立候補できる被選挙権の年齢は、30歳以上の国民ということですが、衆議院議員の場合25歳以上ということを考えて、より社会経験を持つ方を選ぶ仕組みになっています。

他には、内閣の不信任決議案は衆議院のみであったり、法案における衆議院で可決、参議院が否決した法案であっても衆議院が3分の2以上の多数で賛成すれば成立したり、首相指名、予算・条約の議決について衆議院の優越が認められています。



埼玉県立 歴史と民俗の博物館と

江戸時代の法度や掟書を掲示する高札場

<生活と政治>

さいたま市大宮区、東武アーバンパークライン(野田線)大宮公園駅を下車して、静かな大宮公園内の一角に「歴史と民俗の博物館」があります。

埼玉県内の歴史や民俗に関する資料が時代ごとに整理され、わかりやすく展示しており、埼玉県の歴史と民俗を知る施設となっています。

その時代ごとに展示されている私たちの「生活の足跡」は、それぞれの地域の歴史の中で培われ、地域の文化と共に育まれたものとなっています。

改めて思うことは、いつの時代においても、安心・安全な「生活」を求めており、そのために「政治(政(まつりごと)を治める)」があるということです。

現代においても同様ですが、私たちの政治の担い手としての政治家を選ぶことが選挙となります。

「政治」を政治家だけに任せるわけではありませんが、私たちが選ぶ意味を考えながら、それぞれの構成組織、加盟組合の皆さんには、必ず投票に行っていたいただきたい。

2022.4.20